

主催者挨拶

本日はご多用中のところ、皆様私どもの設立 20 周年記念式典にご出席をいただき、まことに有難うございます。

当会は、2002 年 4 月に茨城県で初めて ICT による社会貢献を事業の目的とした NPO 法人として発足いたしました。ここに設立 20 周年を迎えることが出来たのも、ひとえに日立市ならびに近隣の行政、企業、各種団体の皆様のご支援とご理解の賜であり心から感謝を申し上げます。また今日まで当 NPO 活動を推進し維持された諸先輩と会員の皆様に厚く御礼を申し上げます。

日本で NPO 法人の活動が始められたのは、1995 年 1 月に発生した阪神淡路大震災がきっかけとなりました。政府や自治体は、役人を現地に派遣しても、彼らは法律で定められた範囲内で仕事をするという限界があり、多額の義援金や寄付金が集まり、個人的に全国から多くのボランティアが集まりましたが、組織的に活動することが、うまくできませんでした。このときの反省から、従来のボランティア団体や市民団体が、法人格を持って活動できるように NPO 法は、1998 年 12 月に制定されました。

さて、全国的に少子高齢化が進む中で、日立市のシニアである 65 歳以上の高齢者の比率は、全市民の 30%を越えて全国的にみても高い水準にあります。また昨年、国はデジタル庁を設立し、さまざまな ICT 技術を活用した行政の改革を押し進めています。パソコン、タブレットやスマホが生活必需品になっている現在、あらゆる世代間でデジタル技術を有効活用し、市民生活の質や満足度の向上が図られています。そのような要請と時代の流れとともに、変化に対応して

いけるよう引き続き努力して、少しでも社会に貢献していくことが、私たちの NPO 法人の使命であると考えています。

当会は設立以来、市民のためのパソコン教室を開設してまいりました。

2012 年には、当会の設立 10 周年記念の事業として、市立多賀図書館の研修室にパソコン 15 台を設置して、市民の自主グループに、パソコン教室の場を提供してまいりました。2018 年からは、日立市主催のパソコン・スマホ無料相談会で、相談員を担当いたしました。

また 2019 年からは「シニアのためのパソコン入門講座」を市の後援でスタートいたしました。翌年の 2020 年からは「市民のためのプログラミング入門講座」を教育委員会の後援で開催いたしました。両講座とも受講希望者は多く、当初の予定よりも講座数を増やして受け入れてまいりました。

設立 20 周年を機に、心も新たに、当会のモットーである「シニアの生きがいは、人や地域のお役に立つこと」を堅持して、会員へのサービス向上を目指してまいります。

最後に、今までご支援ご指導をいただきました皆様には感謝を申し上げ、今後とも引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願いし、会員の皆様には末長いご健勝をご祈念して、設立 20 周年のご挨拶といたします。

令和 4 (2022) 年 10 月 19 日

NPO 法人コミュニティ NET ひたち 代表理事 久保 裕